

授業科目	日本語表現法				実務家教員担当科目	-					
単位	1.	履修	選択	開講年次	3	開講時期	前期				
担当教員	戸田 由美										
授業概要	<p>1、自分の気持ちを素直に表現できるように 2、早く簡潔にまとめられるように 3、魅力的に話すことができるように</p> <p>以上1～3がうまくできるための、コツをお教えいたします。 コツを習得すれば、必ず上手になります。 その対策として、15回の講義を系統立てて学習していきます。</p>										
授業形態	講義	授業方 法									
学生が達成すべき行動目標											
標準的 レベル	<p>1、ことばの大切さを自覚し、日本語をとおして日本文化についても認識を深めることができる。 2、コミュニケーションが円滑になり、視野が広がり、ものの見方に幅ができる。 3、＜読む・聴く・書く・話す＞能力が向上し、文章の書き方、話し方等々の基礎を習得することができる。 4、磨きのかかった表現をものにして、魅力的な女性へと変身することができる。</p> <p>正しい日本語を用いて自分自身の考えをまとめる力があること。</p>										
理想的 レベル	＜読む・聴く・話す・書く＞という全ての分野において、縦横無尽に表現できるようになること。										
評価方法・評価割合											
評価方法	評価割合（数値）				備考						
試験											
小テスト											
レポート	50%										
発表（口頭、プレゼンテーション）											
レポート外の提出物	20%										
その他	30%										
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	-	DP3	-	DP4	-	DP5	○	ナンバ リ ン グ	NU10510J WE10510J NT10510J EN10510J T010510J
学習課題（予習・復習）										1回の学習目安 （時間）	
復習										1	

授業計画	
第1回	日本語と〈お米〉の関係について・・・ なぜ日本語というものが生まれたのか。
第2回	『普通の文の書き方』について（1） 簡単そうでむずかしい「具体的」について実例を挙げながら検討する。
第3回	『普通の文の書き方』について（2） 文のねじれ・語順・句読点・文章の組み立てなどを考察しながら、わかりやすい表現を習得する。
第4回	「就職のための小論文の書き方のコツ」（1） ジャンル別にテーマを定めて、論ずるための構成法を習得する
第5回	「就職のための小論文の書き方のコツ」（2） 同上に加えて、論文と作文の相違を考え、実際に書いてみる。
第6回	あなたは敬語に自信がありますか？（1） 間違えやすい敬語の例を挙げ、訂正検討する。
第7回	あなたは敬語に自信がありますか？（2） 間違えやすい敬語の例を挙げ、訂正検討する。 さらに、敬語が日本に発生した歴史的ルーツを説く。
第8回	若者ことば・接客ことばなど間違えやすい日本語表現を見直す
第9回	会話の達人になるには（1） テーマを定めてグループ討議した内容を代表者が纏めてスピーチする。
第10回	会話の達人になるには（2） 自己紹介スピーチコンテストをする
第11回	就職の面接の予行演習 気をつけるべき点を解説する
第12回	履歴書の書き方をまなぶ。 自分自身をどのようにPRするのか、 アピールの仕方を研究する。
第13回	手紙を書こう。 実際に手紙を書いてみる。そして手紙の形式に表われているところにふれてみよう。
第14回	素敵な言葉を見出そう
第15回	まとめ
テキスト	使用しません。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	講義中、必要に応じてプリントを配布いたします。

課題に対するフィードバックの方法	レポート（50点）
学生へのメッセージ・コメント	<p>わからない言葉にであったときには、必ず辞書でしらべましょう。 活字に親しむことが一番です。</p> <p>講義中理解できなかったところは、必ず、質問してください。 最後に提出するレポート、講義中の態度、出欠などの総合点によって成績をつけます。</p>